

一般質問

馬場 栄一郎 議員

犯罪抑止だけでなく交通 事故抑止の取り組みを 「自転車などの事故防止対策が必要」



▲荒川の浄化用水を導入しています

議員 埼玉県警本部作成の「埼玉県交通事故ハザードマップ」を見ると、人身事故多発区間として

国道17号下戸田2丁目区間、人身交通事故多発交差点として、美女木3丁目、美女木八幡、美女木7丁目の美女木交差点が挙げられている。私も交通事故をよく見かけるが、本市の交通事故の現状はどうなっているのか。

市民生活部長 本年の交通事故発生状況は、8月

末現在で人身事故件数603件、死者数2人、物件事故件数1408件



▲こんな現場は見たくないですね

となつていて。人口千人当たりの人身事故発生件数を見ると、昨年度県内ワースト8位。

今後、特に昼間時の交差点での自転車、二輪車の事故への防止対策が必要である。

議員 警察からの詳細な事故情報の提供を求め、戸田市交通事故分布図を作成し、

防犯対策とともに、交通事故抑止対策に努めるべきでないか。

市民生活部長 詳細な情報提供を警察に求める。

駅の発車音の見直しを

議員 市内3駅で、上り線の発車音が戸田市歌「ああ わが戸田市」のメロディに変更された。何の曲が流れているのかわかりがたく、中途半端だと思う。見直しの検討を

してはいいかがか。

総合政策部長 市歌の採用後、市民の苦情はない。郷土愛を高める効果もあり、穏やかな曲調から駆け込み乗車の事故防止にも役立つ。したがって、引き続き実施したい。

議員 流れる曲が戸田市歌であるとの案内の設置や駅構内で流すなどの工夫を考えるべきである。

地球温暖化対策と ボートコースの浄化

「河川等の浄化は県へ要請する」

議員 環境問題について何う。①アイドリングストップ車の導入促進をすべきではないか。②エマルジョン燃料（水と重油等を5対5で混ぜた燃料）の普及による地球温暖化対策を進めてはどうか。③清流ルネッサンスⅡ

による笹目川等の浄化の改善と、戸田ボートコースに散気盤を設置し、曝気（エアレーション）による浄化を行ってはどうか。

高橋 秀樹 議員

市民生活部長 ①アイドリングストップ車によつて、大気汚染の原因であ

る窒素酸化物や二酸化炭素、粒子物質を抑制できる。バスやタクシー、宅配等の車への導入や普及を検討したい。②エマルジョン燃料はボイラー等の燃料として利用でき、大気汚染の削減に効果があり、燃料費も削減できる。市の施設や市内事業者への啓発を検討したい。

が主であり、効果は出ていない。浚渫や清掃等と一体として進める。ボートコースの浄化は、埼玉県※しんせつの施設でもあり、県に要請する。

学校開放には 施設整備が必要

議員 ①学校開放したことで、グラウンドや体育館が利用でき、気軽にスポーツを楽しめるようになった。利用者や地域の人々が安全に安心して利用

するには、防球ネットやバックネット等の施設整備は必要である。②喜沢中学校のクラブハウスは、利用度が低い。学校のクラブ活動に使用できるようにしてはどうか。

教育部長

①学校の教育に必要な少ないものの設置は慎重に対処したい。防球ネットは、必要性の高い学校から順次設置する。②学校の授業、クラブ活動を通じ利用促進したい。

※ 浚渫＝海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること。



手塚 静枝 議員

若年層の投票立会人選任で 投票率のアップを

「貴重な意見として真摯に検討する」

議員 選挙権は国民に与えられた重要な権利の一つである。ゆえに、政治に関心を持ち、選挙に参加することが大事である。特に、未来を担う若い世代が選挙を通じて、日本の将来に対する意思表示をすることは、21世紀の新しい政治を築いていく上で極めて重要である。①本市も若年層の投票率が低い、投票率アップと無関心層への対策は。②選挙への関心を持つてもらうために、20代



の若年層の投票立会人を選任してはどうか。③駅

▲自分達の将来に意思表示しよう！

前に期日前投票所を開設できないか。

任の提案は、貴重な意見として真摯に検討する。③設置するには、クリアしなくてはならない問題があるので、今後慎重に検討していく。

**妊産婦・乳幼児を守る
災害対策について**

議員 災害時の避難生活における支援で、心身に特に配慮が必要な妊産婦・乳幼児を守る災害対策のガイドラインはあるのか。災害弱者である高

齢者や障害者の対策はもちろんであるが、妊産婦や乳幼児を抱える女性の支援をぜひとも望みたい。

総務部長 妊産婦・乳幼児に絞ったガイドラインは今のところない。妊産婦・乳幼児の防災対策については、「戸田市災害時要援護者施策検討会議」で検討することになっているので、避難生活での支援を含めて、きめ細かく配慮していく。

熊木 照明 議員

蕨警察署新庁舎の 施設概要は

「県下最大の留置場や射撃場あり」

議員 本年5月に市民待望の蕨警察署新庁舎が完成・移転したところであるが、駐車場も広く、床面積も今までの2.2倍と広く、ゆとりある庁舎に生まれ変わった。新庁舎の中には、県警本部機

動捜査隊などの執行部隊もあるとのことだが、その他の署内施設の概要を伺いたい。

総務部長 県下で最大の留置場の施設、県内警察署では3カ所目となる射

撃場も設置され、環境対策・災害対策としてトイレ用水に雨水の再利用、屋上に太陽光発電の設置、太陽熱給湯システム、耐震性貯水槽の設置、非常用電源設備等がある。

議員 本市は人口増加率とともに、交通事故や犯罪発生率も高い状況が続いているが、今後も新庁舎に負けないよう、交通事故防止、防犯対策に取り組む、犯罪のない安全で安心して暮らせるまち

づくりを進められたい。

総務部長 今後も市民防犯パトロール隊など、市民の協力をいただきながら、市民・警察・行政の三位一体で防犯対策に取り組んでいきたい。

医療保健センターの 医療費低減対策を

議員 医療保健センターにおいて医療費の低減対策、薬代の負担縮減方策として、低価格の「ジェネリック医薬品」の処方

を推進してはどうか。

議員 旧蕨警察署の跡地は。

総務部長 既存建物は本年中に解体し、跡地は県有地であるが、売却の予定である。

医療保健センター事務長 患者の意思を尊重し、主治医の責任と判断により処方をしていく。